第21巻第5号［宮崎県5週（1/28～2/3）全国第4週（1/21～1/27）］　平成31年2月7日

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第5週の発生動向

□　全数報告の感染症（5週までに新たに届出のあったもの）

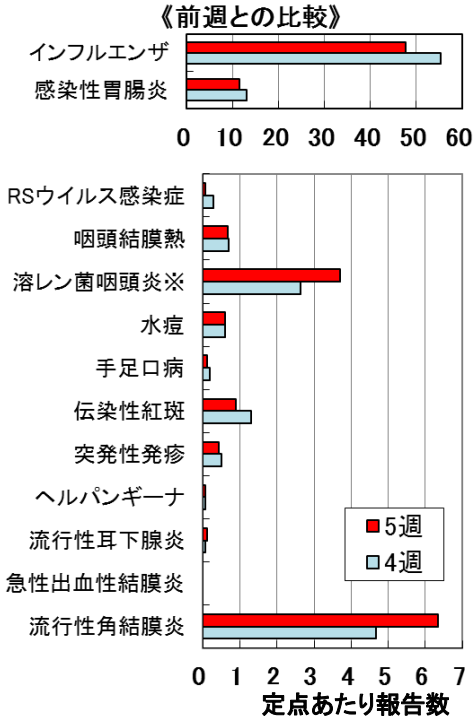
1類感染症：報告なし。2類感染症：結核1例。3類感染症：報告なし。
4類感染症：報告なし。　5類感染症：梅毒1例、百日咳4例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状　等
2類	結核	宮崎市	80 歳代	女	肺結核	咳、痰
5類	梅毒	都城	40 歳代	男	早期顕症梅毒（Ⅱ期）	眼症状
	百日咳	宮崎市	10 歳代	女	－	持続する咳
		都城	5～9歳	男	－	持続する咳
		高鍋	10 歳代	女	－	持続する咳、夜間の咳き込み
		日向	10 歳代	女	－	持続する咳、スタッカート

□　定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は3,449人(定点当たり72.0)で、前週比91%と減少した。なお、前週に比べ増加した疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と流行性角結膜炎で、減少した主な疾患はインフルエンザと感染性胃腸炎である。

《前週との比較》



※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

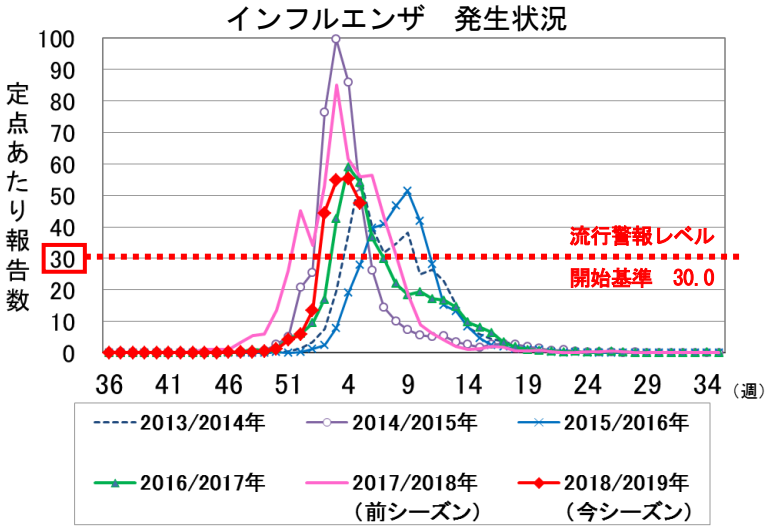
【インフルエンザ】

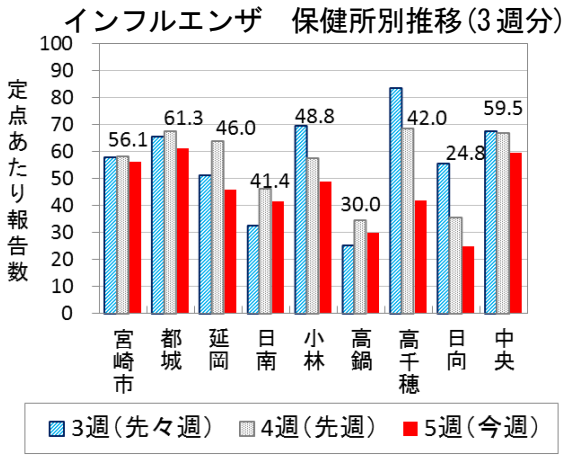
報告数は2,760人(47.6)で、前週比86%と減少しており、例年同時期の定点当たり平均値*(47.1)とほぼ同率である。都城(61.3)、中央(59.5)、宮崎市(56.1)保健所からの報告が多く、年齢群別では10歳未満が全体の約5割を占めている。

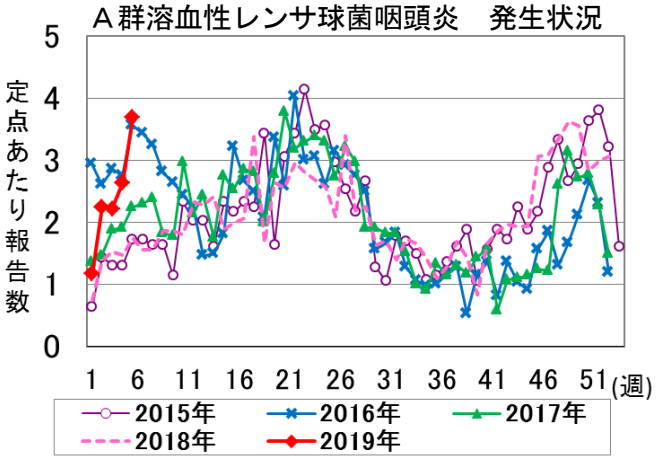
【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

報告数は133人(3.7)で、前週比140%と増加しており、例年同時期の定点当たり平均値*(2.2)の約1.7倍である。小林(9.3)、高鍋(7.5)保健所からの報告が多く、年齢群別では3～6歳が全体の約6割を占めている。

＊　過去5年間の当該週、前週、後週（計15週）の平均







★基幹定点からの報告★
報告なし。

★保健所別　流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	インフルエンザ(56.1),水痘(1.2), 流行性角結膜炎(12.3)
都城	インフルエンザ(61.3)
延岡	インフルエンザ(46.0)
日南	インフルエンザ(41.4),水痘(1.0),伝染性紅斑(3.3)
小林	インフルエンザ(48.8),A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(9.3),感染性胃腸炎(28.0)
高鍋	インフルエンザ(30.0)
高千穂	インフルエンザ(42.0)
日向	インフルエンザ(24.8)
中央	インフルエンザ(59.5),水痘(2.0)

＊流行警報レベル開始基準値＊
・インフルエンザ(30.0)
・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0)
・感染性胃腸炎(20.0)
・水痘(2.0)
・伝染性紅斑(2.0)
・流行性角結膜炎(8.0)

＊流行注意報レベル基準値＊
・インフルエンザ(10.0)
・水痘(1.0)

全国 2019 年第 4 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 4 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	333 例				
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	13 例		
4類感染症	Ｅ型肝炎	5 例	Ａ型肝炎	9 例	つつが虫病	4 例
	デング熱	1 例	レジオネラ症	21 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	9 例	ウイルス性肝炎	10 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	23 例
	急性脳炎	46 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	19 例
	後天性免疫不全症候群	15 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	15 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	3 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	49 例	水痘（入院例）	5 例	先天性風しん症候群	1 例
	梅毒	86 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	百日咳	237 例
	風しん	81 例	麻しん	41 例		

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 106 %と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は水痘とＡ群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患は手足口病である。

インフルエンザの報告数は 283,388 人(57.1)で前週比 106%と増加しており、例年同時期の定点当たり平均値*(34.0)の約 1.7 倍である。埼玉県(84.1)、新潟県(77.7)、千葉県(73.0)からの報告が多く、年齢群別では 10 歳未満が全体の約 5 割を占めている。

伝染性紅斑の報告数は 2,770 人(0.87)で前週比 99%とほぼ横ばいであったが、例年同時期の定点当たり平均値*(0.29)の 3 倍である。宮城県(4.1)、山形県(2.7)、新潟県(2.5)からの報告が多く、年齢群別では 3～6 歳が全体の約 6 割を占めている

＊　過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均

宮崎県 感染症情報　（71定点医療機関）

2019年 第05週（01月28日～02月03日）

疾病名		第04週	第05週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	3210	2760	842	613	322	207	244	180	84	149	119
	定点あたり	55.34	47.59	56.13	61.30	46.00	41.40	48.80	30.00	42.00	24.83	59.50
RSウイルス感染症	報告数	10	3		1	2						
	定点あたり	0.28	0.08	0.00	0.17	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	25	24	2	2	5	2		4		7	2
	定点あたり	0.69	0.67	0.20	0.33	1.25	0.67	0.00	1.00	0.00	1.75	2.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	95	133	34	6	18	6	28	30	4	4	3
	定点あたり	2.64	3.69	3.40	1.00	4.50	2.00	9.33	7.50	4.00	1.00	3.00
感染性胃腸炎	報告数	469	411	63	117	15	55	84	40	4	22	11
	定点あたり	13.03	11.42	6.30	19.50	3.75	18.33	28.00	10.00	4.00	5.50	11.00
水　痘	報告数	22	22	12		2	3	1			2	2
	定点あたり	0.61	0.61	1.20	0.00	0.50	1.00	0.33	0.00	0.00	0.50	2.00
手足口病	報告数	7	4	1		1	1			1		
	定点あたり	0.19	0.11	0.10	0.00	0.25	0.33	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	47	32	17	1	3	10		1			
	定点あたり	1.31	0.89	1.70	0.17	0.75	3.33	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	18	16	8	1	1		2	2		1	1
	定点あたり	0.50	0.44	0.80	0.17	0.25	0.00	0.67	0.50	0.00	0.25	1.00
ヘルパンギーナ	報告数	2	2				1	1				
	定点あたり	0.06	0.06	0.00	0.00	0.00	0.33	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	3	4		1	1	1					1
	定点あたり	0.08	0.11	0.00	0.17	0.25	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	28	38	37		1						
	定点あたり	4.67	6.33	12.33	0.00	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点：58、小児科定点：36（インフルエンザ定点を兼ねる）、眼科定点：6、基幹定点：7

上段：報告数
下段：定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数（2019年第1週～5週）

2類感染症	結 核	15例(1)			
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1例			
4類感染症	つつが虫病	3例			
5類感染症	ウイルス性肝炎	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3例	侵襲性肺炎球菌感染症　2例
	梅 毒	1例(1)	百日咳	26例(4)	

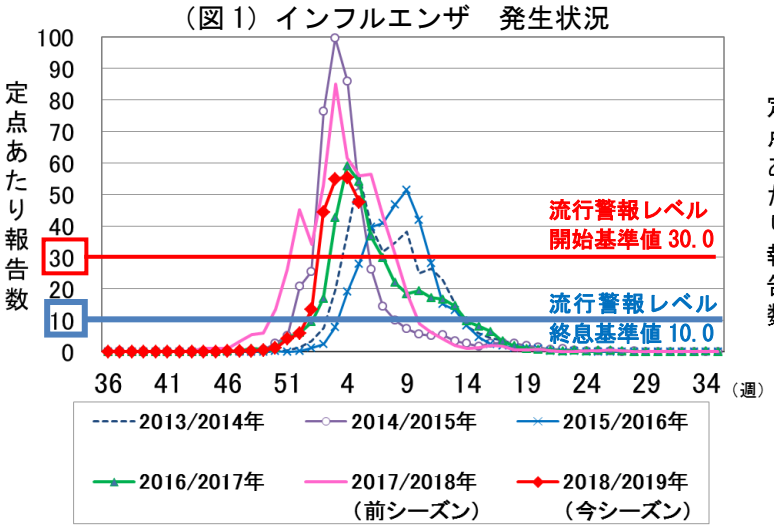
（　）内は今週届出分、再掲

インフルエンザ情報《県内第 5 週、全国第 4 週（再掲）》

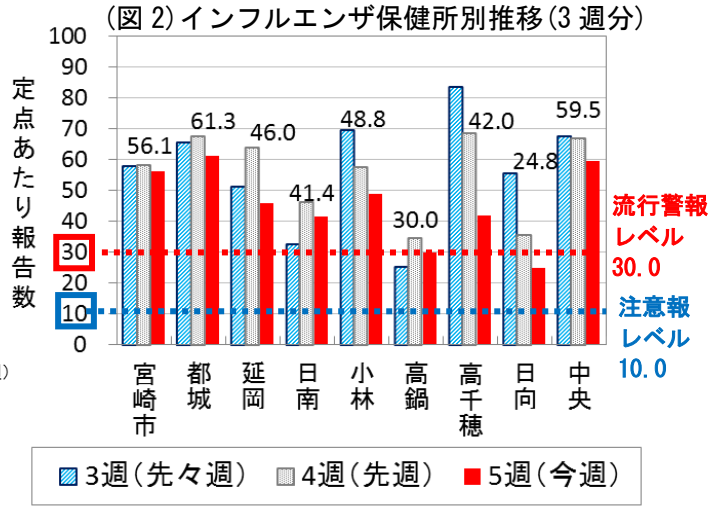
□ 県内第 5 週インフルエンザ発生動向

2019 年 1 月 28 日～2 月 3 日までの 1 週間で 2,760 人（47.6）の報告があった。前週の約 0.9 倍と減少しており、例年同時期の定点当たり平均値*（47.1）の約 1.0 倍である（図 1）。保健所別推移を図 2 に示す。年齢群別では 5 歳未満が全体の 23%、5-9 歳が 28%、10-14 歳が 17%、15-19 歳が 4%、20-59 歳が 20%、60 歳以上が 8%を占めている（図 3）。＊過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均値

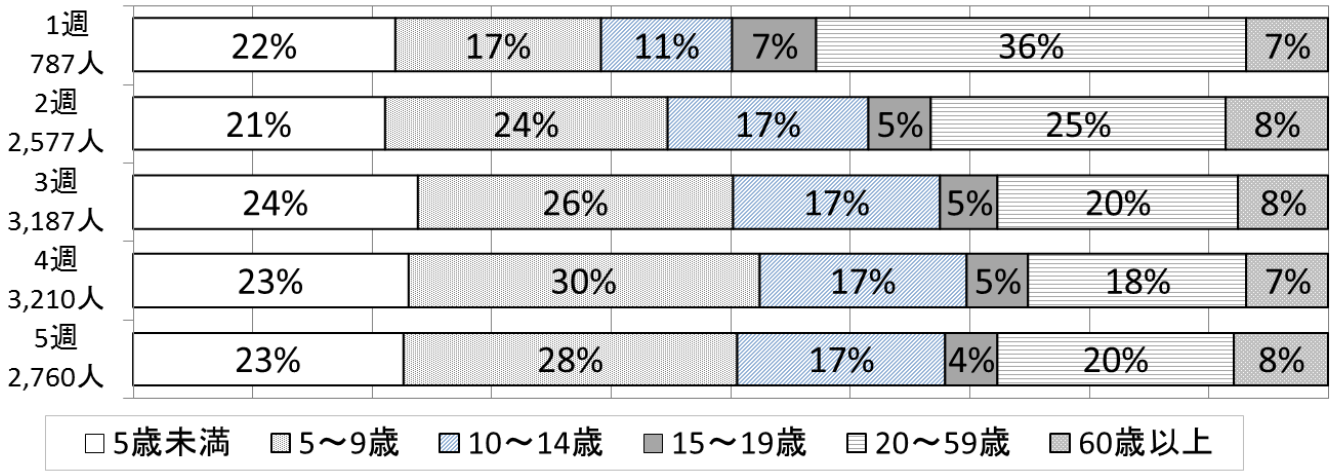
（図 1）インフルエンザ　発生状況



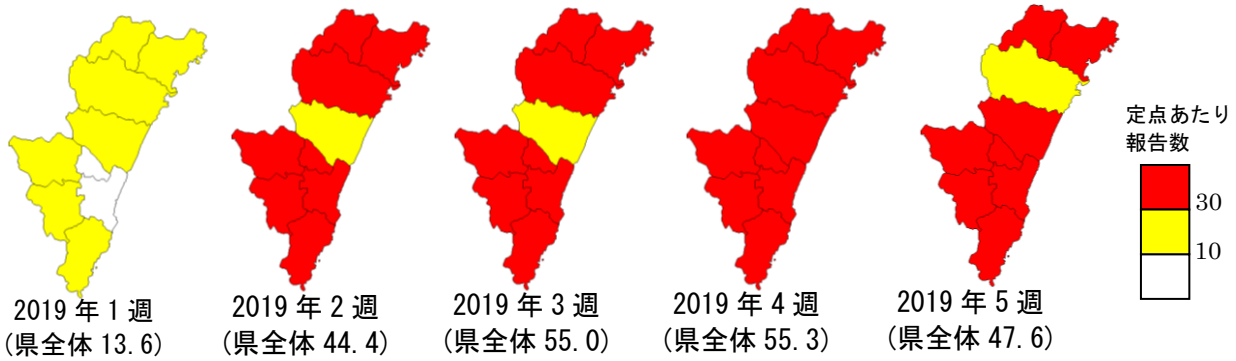
（図 2）インフルエンザ保健所別推移（3 週分）



（図 3）年齢群別割合の推移（2019 年第 1 週～第 5 週）



保健所別インフルエンザ流行レベルマップ　2019 年第 1 週～第 5 週



□ 全国第 4 週インフルエンザ発生動向

2019 年 1 月 21 日～1 月 27 日までの 1 週間で 283,388 人（57.1）の報告があり、前週の約 1.1 倍と増加した。埼玉県(84.1)、新潟県(77.7)、千葉県(73.0)からの報告が多い。年齢群別では 5 歳未満が全体の 20%、5-9 歳が 29%、10-14 歳が 16%、15-19 歳が 4%、20-59 歳が 22%、60 歳以上が 9%である。